

江別市自治会連絡協議会機関紙

# ななかまど

自連協 ホームページは こちら！



題字の「ななかまど」は江別市の木です



## 江別市自治会 連絡協議会って なに？

江別市自治会連絡協議会は、自治会相互の連携を図りながら、市全体で住みよいまちづくりを進めていくために、市内の単位自治会（計162自治会）・自治連合会で設立した協議会です。  
会長のほか副会長6名、理事23名、監事3名の役員体制で取り組んでいます。

## 新会長就任のご挨拶

江別市自治会連絡協議会の新会長に就任しました砂川英雄です。  
自治会は、行政と地域をつなぐ架け橋のような存在です。私たちの活動を通じて地域の声を行政に届けることができるだけでなく、行政からの情報や支援を地域に還元する役割も担っています。

この重要な役割を果たすために、自治会連絡協議会の正副会長や理事、事務局などが一丸となって取り組んでいきたいと思えます。私は仕事をリタイアした後、地元である江別に帰ってきて自治会活動を始めましたが、新しい人とのつながりができることで毎日が元気で楽しいものになりました。

現在、自治会の高齢化による担い手不足など様々な課題がありますが、市内の各自治会がより一層活動しやすくなるとともに、若い世代にも自治会活動に参加してもらい、地域の宝である子どもたちがより住みやすく、ずっと住み続けたいと思う地域を築いていくために尽力してまいりたいと考えています。


これからの2年間、皆さんと共に力を合わせて地域の発展に寄与できるよう努力していきますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



新会長の  
砂川です！

〔退任者〕		〔監事〕		〔理事〕		〔副会長〕		〔会長〕		令和7年度自連協役員													
岩村 ヒロ子	島田 泰美	田村 裕明	米谷 勝行	村瀬 脩	小田 久則	大塚 久則	小田 島和平	片桐 雅人	森谷 良雄		※山本 敏朗	※小林 徹男	※丹野 孝明	工藤 正義	大藤 榮治	佐藤 誠一	谷内 薫	小松 健二	※山本由美子	※佐々木常男	今林 隆一郎	小田 島 篤	裏 悦瑞
鈴木 良二	木葉 淳	田原 寿夫	小山千賀子	田原 寿夫	※井澤 明宏	※佐藤 行泰	※内田 辰英	工藤 英一	高橋 安雄	岩田 草平	石垣 巧	星野 富士男	松野 茂	村上 豊	※中村 秀春	※川村 弘	高川 一伸	矢崎 聖順					

### 退任のご挨拶



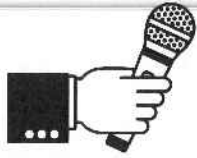
会長としての任期を無事に終えることができましたのは、ひとえに皆様のご協力のおかげです。  
多くの方々への支えがあり、皆様とともに活動できたことを大変嬉しく思っております。  
改めて、これまでのご支援に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

前会長 村瀬 脩

## 広告募集中

約41,000部を発行し、自治会を通して各家庭へ配布しています。  
掲載に関わるご相談は、下記までご連絡ください。

自治会連絡協議会事務局（市民生活課内）  
江別市高砂町6番地  
☎011-381-1018



## 市長インタビュー 『自治会はまちづくりのパートナー』



後藤好人市長

### Q1 これまで自治会活動を通じて感じたことを教えてください。

これまで自治会で長年、会計などの役員を担ったり、花植えをはじめ様々な活動に参加してきました。

活動に参加して良かったと思うことは、近所の人は顔を知っているけれど、道路一本向こうに住んでいる人には顔を合わせる機会が少なく、活動を通じて、自宅から離れたところに住む人たちと交流でき、つながりを持てたことです。また、そういった新しいつながりができることは、新鮮で楽しいことですし、道端で出会って世間話をすることで住むことへの安心感も生まれました。

役員を引き受ける前は、正直なところ「自治会活動に参加することは大変」という気持ちがありましたが、始めて見ると大変なこともありましたが楽しいことが多く、自分の都合に合わせて無理せず少しでも参加してみることが大切なことだと思います。

特に、お子さんも含めて家族で参加すると、地域の方々もとても喜んでくれますし、子どもたちが自分の住んでいる地域で楽しい思い出が増えると、今後、その子どもたちが大人になったときに、地域の力になってくれて、まちづくりにもつながっていくのではないかと思います。

### Q2 市では市民協働のまちづくりをすすめていますが、自治会は市にとってどういう存在ですか。

自治会は市にとって、『まちづくりのパートナー』です。

市だけでは、地域の隅々まで目が届かない部分があります。そういった中、それぞれの地域の情報を提供していただいたり、まちづくりの方向性を地域にあったものにすり合わせていくのに際して、自治会の存在は非常に重要な役割を果たしています。

防災では、災害時の被害を最小限に抑えるために、『自助・共助・公助』の3つで取り組むことが重要だと言われています。この言葉は、防災だけではなく普段の生活にも当てはまるものだと思います。自分が住む地域を「自分自身、自治会をはじめとするコミュニティ、市」の3者がそれぞれ考え行動することで、本当に自分たちが住みやすいまちをつくることができるのだと思います。

一斉清掃や防犯灯についてもそうですが、地域の方々の目が行き届いているからこそキレイな街並みが続き、安心や安全にもつながっていくのではないのでしょうか。

### Q3 最後に自治会に対する思いをお聞かせください。

市内には162の自治会がありますが、それぞれの自治会長さんをはじめたくさんの役員の方々が、「地域を自分たちの手で良くしたい、守りたい」という信念のもと取り組んでいただいています。

またこうした地域のとりまとめ役として、日頃から江別市自治会連絡協議会や、江別・野幌・大麻の各地区の自治会連絡協議会の皆さんが、まちづくりにご尽力いただいていることに心から感謝しています。

私は江別を『笑顔あふれるまちにしたい』という思いで市政運営を行っておりますが、市だけで成し遂げられることなく、自治会をはじめとする地域の皆さんのお力添えがなくてはならないものと思っています。

各自治会では、高齢化による担い手不足など、様々な課題があると思いますし、共働き世帯や親の介護、勤務先が札幌市内の方も多くいますので、それぞれの地域にあった工夫も必要になっているところです。

将来の江別を担う子どもたちが住んでいて良かったと思える地域にするために、今後とも、市と自治会が一体となり、知恵を出し合いながら取り組んでいければと思っています。





### 3 地区連会長インタビュー

#### 『江別・野幌・大麻の3地区の特色を教えてください!』



#### ●江別地区自治会連絡協議会 砂川英雄会長から

江別地区は、江別発祥の地域とされ、古くは官庁街と商工業の中心として栄えた場所で、歴史のある建物や古くからの街並みが多く残っている地域です。豊幌エリアや角山・美原・篠津などの農村エリアもこの地区に属し、全部で53の単位自治会が、それぞれが特徴ある活動をしています。

各自治会では、花壇整備や一斉清掃など地域の美化活動をはじめ、交通安全、自治会排雪など様々な事業を実施していますが、近年は工夫を凝らしてキッチンカーなども来るような夏祭りや盆踊りなどの行事も行われ、地域の子どもたちをはじめ年齢問わず多くの方が集っています。

私の所属する上江別第一自治会では、昨年、新たに若い方が自治会役員を担っていただくこととなり、子ども向けのイベントなどを企画していただき大いに盛り上がりました。こういった若い方の発想を地域の中に入れていただき、地域の活動がより一層実のあるものにしていくことが重要だと改めて感じたところです。

また、江別地区の自治会の取りまとめ役である江別地区自治会連絡協議会の役員の方々は、明るいキャラクターの方が多く、近い関係でコミュニケーションをとりながら、江別地区の自治会がより運営しやすいよう取り組んでいます。

ぜひ、自治会で開催するお祭りや行事にご家族で参加していただき楽しむところから自治会活動を始めていただければと思います。

#### ●野幌地区自治会連絡協議会 高川一伸会長から

野幌地区は、野幌駅を中心に大きく北エリアと南エリアに分けられ、全部で47の単位自治会で構成されています。今年は野幌松並町鉄道林跡地や野幌若葉町市有地の再開発により、スーパーマーケットやテナント、宅地造成も進む予定となっていることから、今後、自治会員の増加が見込まれるところです。

大きなイベントとしては、7月に野幌地区自治会連絡協議会も共催している「えべつ市民まつり in 野幌」などがあり、市内・市外問わず多くの方が訪れます。各自治会においても、夏祭りや花火大会、盆踊りを実施するほか、子ども向けにクリスマス会を実施するところもあり、家族との大切な思い出となる様々な行事が行われています。

また、女性団体協議会が行うバザーや懇談会、学習会、青少年育成協議会が行う冬のお楽しみ会、小中学生の作文・意見発表会など、地区連と他団体が連携し、幅広い活動も行われています。

この地区の自治会の中には、先進的な取り組みとして、デジタル技術を活用した自治会回覧や情報共有を行い、自治会活動の負担を軽減する取り組みを実施しているところもあります。

今後とも、様々な工夫を行いながら、より一層野幌地区が活性化し住みやすくなるよう、地域の皆さんとともに一緒に取り組んでいきたいと思っていますので、会員の皆様には、ぜひ短時間でも構いませんので、身近なところから自治会活動に参加していただければと思います。



#### ●大麻地区自治連合会連絡協議会 今林隆一郎会長から

大麻・文京台地区は、線路を挟んで北側が大麻地区、南側が文京台地区となっており、62の単位自治会で構成されています。

野幌森林公園、鉄道林、自然の地形を利用した公園など、緑があふれ、閑静な環境であるとともに、昔ながらの商店街もあり、地域の憩いの場になっています。特に鉄道林は、防音・防風などの効果だけではなく、景観にも寄与しており、大麻の緑を象徴するものです。

また、酪農学園大学、札幌学院大学、北翔大学の3つの大学があり、大学のイベントに地域住民が参加したり、自治会行事に大学生が参加するといった相互交流も図られています。

イベントとしては、大麻自連協が共催する「大麻・文京台地区江別市民夏まつり」が夏の恒例の行事となっており、子どもから高齢者まで楽しめる手作りのお祭り、たくさんの方が来てにぎわいを見せています。その他にも、自治会行事ではありませんが、大麻神社秋季例大祭にも多くの方が訪れます。

私が会長を務める大麻第一住区自治連合会では、毎年所属自治会の皆さんが、約600mにわたり三千本弱の花を使った花壇整備を行うなど、手間暇をかけて彩りある街並みづくりに取り組んでいます。そのほか各自治会でも花壇整備を行っており、大麻地区は街路花壇が美しい地域だと評価をいただいているところです。

今後とも、より地域に住む方にとって意味のある自治会活動になるよう、大学生と連携を図るなど工夫を凝らしながら、各自治会長をはじめとする会員の皆さんとともに取り組んでまいりたいと思っています。



## 令和7年度 総会が開催されました

令和7年5月17日(土)、江別市民会館小ホールにおいて、江別市自治会連絡協議会総会が開催されました。総会では、令和7年度事業計画及び予算などの議案が審議され、原案どおり承認されました。

### <審議事項>

- ① 令和7年度事業計画案について
- ② 令和7年度収支予算案について
- ③ 令和7年度コミュニティ太鼓特別会計収支予算案について
- ④ 役員改選について

### 令和6年度決算及び令和7年度予算

#### 【収入】

(単位：円)

項 目	令和6年度 決算額	令和7年度 予算額	説 明
1. 会費	1,136,520	1,174,440	一世帯当り 30円
2. 補助金	1,415,000	1,781,000	
3. 繰越金	1,260,473	1,023,200	前年度繰越金
4. 雑収入	35,700	41,360	
	95,000	100,000	機関紙「ななかまど」広告料
合 計	4,120,693	4,298,000	

#### 【支出】

(単位：円)

項 目	令和6年度 決算額	令和7年度 予算額	説 明
1. 事務費	1. 旅費	111,160	会議等旅費
	2. 需用費	357,107	事務用品、防犯灯保険料、自治会お役立ちマニュアル改訂
	3. 渉外費	49,130	渉外経費
	4. 負担金	154,200	各種負担金
	5. 支払手数料	13,145	各種支払手数料
2. 事業費	1. 報償費	41,661	表彰経費
	2. 会議費	372,793	各種会議費
	3. 研修費	499,721	各種研修費
	4. 広報費	1,489,078	機関紙「ななかまど」発行費
3. 予備費	9,498	261,000	
合 計	3,097,493	4,298,000	

### 令和7年度事業計画

- 1 自治会活動研修会の開催
- 2 セミナー、意見交換会等の開催
- 3 先進都市交流会の開催
- 4 きれいなまちづくり運動の推進
- 5 市長との対話集会の開催協力
- 6 各地区連運営研修会の助成
- 7 機関紙「ななかまど」の発行
- 8 三地区交流会の開催
- 9 地域活動功績者の表彰
- 10 自連協ホームページの管理運営
- 11 北海道町内会連合会(道町連) 共済への加入促進
- 12 自治会のデジタル化への支援
- 13 関係機関・団体との連携と協力
- 14 各種会議の開催